



# 第八回

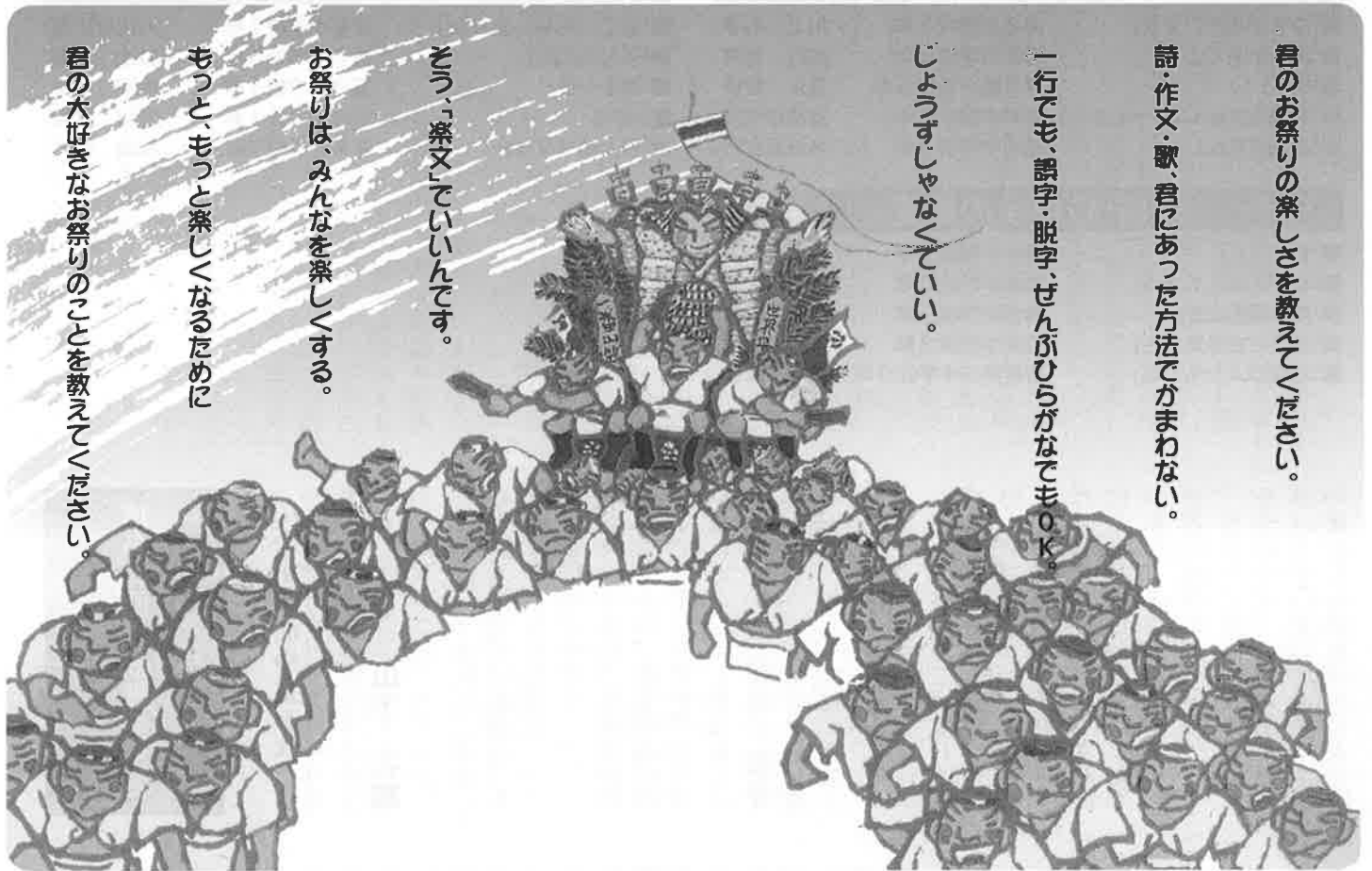
まつり どうし

# 「祭童子あつまれ」

らくぶん

# 楽文コンテスト

## 各賞受賞作品発表!!



- 主 催: **博多の風**
- 特別協賛: **docomo**  
日本アイ・ビー・エム株式会社
- 協 力: 博多祇園山笠振興会、(株)毎日新聞社、RKB毎日放送(株)、九州朝日放送(株)
- 協賛: コカ・コーラウエストホールディングス(株)、西部ガス(株)、西日本鉄道(株)、(株)ふくや
- 後援: 福岡市、福岡市教育委員会、福岡商工会議所、(社)九州経済連合会、(株)岩田屋、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)九電工、(株)西日本シティ銀行、西日本電信電話(株)、(株)福岡銀行
- 選考委員: 瀧田喜代三氏(博多祇園山笠振興会 会長)  
伊藤元信氏(毎日新聞社 西部本社 編集局長)  
永守良孝氏(RKB毎日放送 代表取締役社長)  
沢田幸三氏(KBC九州朝日放送 パーソナリティ)  
大庭宗一 (NPO博多の風 理事長)

# 第20号

平成20年10月発行

第8回

# 祭り童子あつまれ 楽文コンテスト 各賞受賞作品発表!!

## 博多祇園山笠振興会賞

■「だいすきなやまかさ」	博多小学校1年	山下 孔輔
■「子ども山笠」	博多小学校5年	渡邊 喬嗣
■「感謝すること」	周船寺小学校6年	金子 優希
■「お祭り屋台を手伝って…」	香椎第三中学校2年	諏訪 朝香
■「祭童子あつまれ」	香椎第三中学校3年	高松 祐介

## 毎日新聞社賞

■「ぼくのすきな山笠」	博多小学校1年	白水知之介
■「どんたくの楽しみ」	博多小学校3年	近藤進太郎
■「今年のお祭り」	香椎第三中学校2年	秦 安里紗
■「おまつりっていいね」	香椎第三中学校2年	松尾 千明
■「山笠を支える人たち」	博多中学校3年	藤井 南美

## NTTドコモ賞

■「やまかさだいすき」	博多小学校1年	川上 心夢
■「流れかんじょう」	博多小学校3年	江口 世奈
■「祭り」	東月隈小学校5年	是永 愛実
■「笑顔のコミュニケーション」	箱崎中学校1年	安藤ななみ
■「お地藏さん」	箱崎中学校3年	半田百合乃

## 日本アイ・ビー・エム賞

■「おじいちゃんありがとう」	博多小学校1年	刈川啓志郎
■「子ども山笠」	博多小学校5年	井上 雄揮
■「博多っ子」	箱崎中学校1年	中原 綾音
■「地域」	箱崎中学校1年	吉川 大智
■「祭と地域交流」	香椎第三中学校3年	松山 峻太

## NPO博多の風賞

■「おとうと」	博多小学校1年	大浦 萌衣
■「ながれかんじょう」	博多小学校3年	磯田 敬太
■「博多祇園山笠」	博多中学校1年	藤井 健人
■「あのときの気持ち」	箱崎中学校3年	今村 知世
■「地域の人たちと私」	香椎第三中学校3年	岸本 華奈

### 博多祇園山笠振興会賞

#### だいすきなやまかさ

●博多小学校1年

ヤマシタ  
山下 孔輔

ぼくは、うまれたころからやまかさにていたから、やまかさがすきです。

おもしろいです。

あついときに、みずをかけたもらうから、きもちがいいです。すずしいです。

ほいくえんるときはおじいちゃんといっしょにはいっていただけ、いちねんせいになつたら、ひとりではしりました。

すごくはやかたつたです。

おとうさんもこうすけも、おかあさんもいそがしかつたです。

ぼくのおうちは、やまかさのおみせで、おきやくさんにしめこみのしかたをおしえるときは、ぼくがでてきて、もでるになります。

おきやくさんにせつめいしやすいです、つておかあさんがいっています。

来年も山かさいっしょうけ

#### 子ども山笠

●博多小学校5年

ワタベ  
渡邊 喬嗣

んめいにがんばります。

3年生の時に、神奈原の小田原市から引つきました。博多のお祭りを「どんたく」しりました。

7月に近づいて

みんなが「山笠」だったので、ぼくは「山笠」も一体なんだろう？と思いました。聞いてみると、水はつびを着て、し

て山をかついで、行くとき水がいられるとよ」と友だちから聞いたので、「水かけられるの楽しそうだな」と思いました。

初めて参加した「山笠」の日、しめこみを手伝ったので、高学年の後でお祭りをかくの、手伝った。初めは、はず

テントの準備、はつぴの準備やお茶してくれました。も会の方々は、茶の用意をされました。朝から水私達が走る時、お茶を用意してください。お茶を用意してください。お茶を用意してください。

感謝の想いを分かってもらえるように、一生けん命最後まで走ることもあると思います。私は今年になって分かったことがあります。それは、お汐井取りはいろいろな方達がかかわっている祭りだということです。ただ走るのではなく、感謝して走ることが大事なんだなと思いました。

### お祭り屋台を手伝って

●香椎第三中学校2年

諏訪 朝香

少し嫌だったけれど、しぶしぶ行くことにしました。そして、手伝いを始めました。私は、出来上がった焼きそばに鯉節と青のりを振り掛ける係でした。

最初は、あーつまらないなあと思いつつやっていたけど、だんだん楽しくなってきた。何故か「焼きそばはたくさん、売れていますよー」という言葉が耳に入ると、とっても嬉しい気持ちになって、頑張ろうという気にもなれました。この気持ちは生まれて初めて味わった気がしました。

次第にコツが解り、掛け方を工夫したり、焼きそばを入れるパックを開いてあげたりしました。それに、材料が終わりに近づくと、まだ終わりたくない

このようなお汐井取りに参りませんでしなり、おみこや、はつぴの初めて気が付は、ただ「ございます」だけでなく、おかげでこのます、という

この日は、よその町のお祭りの屋台で焼きそばを作る事になってお母さんに付いて行くことになりました。私は、「どんな屋台があるんだろう…場所は結構ひろいかなあ…」と、少しワクワクして付いて行きました。着いてすぐに、お父さんとお母さんは、屋台の人たちと合流して、焼きそばを作り始めました。

●周船寺小学校6年

金子 隆希

周船寺の祭りを知っていますか。おみこしをかついで走るお汐井取りです。お汐井取りは水をかけてもらいながら、伊観神社から今宿海岸まで往復します。毎年、楽しい気持ちで走りますが、今年はずいぶん暑かったです。私は今年、感謝をしなが

走らなければならぬ、と、お汐井取りの子どもの会の子に

気持ちになつていたほどでした。

屋台の人たちは、お母さんの働いている障害者施設のスツフの人達でしたが、手伝いをしていると、「何年生？」などと聞かれ、「偉いね。助かるわあ」と言われ、かき氷やフランクフルトをくれました。

終わってから、とつてもいい気分になつたし、手伝いは楽しかったので、またぜひ参加してみたいと思いました。

## 祭童子集まれ

●香椎第三中学校3年

高松 祐介

お祭りを通して僕が感じる事は、人と人とのふれ合いです。僕は、香椎宮で毎年行われている、しょうぶ祭りや夏祭りなどによく参加するのですが、例えばかき氷や焼きそばなど色々なものを買う時、「いらっしやい」と笑顔で僕を迎えてくれました。そんな風に人と人とのふれ合いを大切にしている人たちは僕は尊敬しています。やっぱり祭りは「笑顔」と「笑い声」が絶えない場所だと僕は思います。それを実現してくれているの

が、祭りを盛り上げてくれる祭りの関係者さん達です。

祭りは、地域を盛り上げるという事もあると思います。そして、地域を大切に思っているという気持ちが伝わってきます。なぜなら、祭りを盛り上げてくれる人達の「笑顔」からそれが伝わってくるからです。

僕達のような若い世代の楽しみは、テレビゲームといった、人と人とのふれ合いがなく、そして交流のない遊びだと思えます。しかし、祭りはどうでしょうか。お年寄りがいない祭りはきつとないでしょう。祭りには、お年寄りの「笑顔」があり、若者の「笑顔」もあります。だから、祭りは世代を超えた交流があります。祭りに参加する事で、全ての人が交流を深め合い、地域を大切にするという事を見つめ直し、全ての人が嫌なことを忘れ、みな「笑顔」になる空間になるのです。そんな祭りが、僕は大好きです。僕だけではなく、全ての人が大好きだと思えます。なぜなら、友達を祭りに誘ってこなかった人は、1人もいないからです。

祭りを「笑顔」にさせてくれる人といえば、舞台に立つて踊りをする人達や、歌を歌

つてくれる人達などが思い浮かぶでしょう。確かにそうだと思います。だけど、まだいるのではないのでしょうか。それは、祭りを計画してくれている人や、裏で見守ってくれている人や、悪い出来事がないように見守ってくれている人。この人達も僕達を「笑顔」にさせてくれていると思えます。

僕は、祭りというものに感謝しています。祭りにかかわる全ての人に感謝しています。祭りを好きな人達に感謝しています。これからも「笑顔」を忘れないで祭りを楽しみ、世代を超えた交流をし、地域を大切にしていきたいと思えます。

祭り、祭りにかかわる全ての人、祭りを好きな人、祭りを「笑顔」にしてくれる人、そして、祭りの「笑顔」にある人がとう。

## 毎日新聞社賞

### ぼくのすきな山笠

●博多小学校1年

シロウス トモノスケ  
白水 知之介

ぼくは、東流の下東町から山笠にでています。下東の子どもは、みんなちがう学校にかよっているの、山笠のときしかあえません。でも、なかがいいので、けんかをあまりしません。なおりがおわって、ばんこにちいさい人をのせて、山笠ごっこをしました。からっぽのペットボトルを清道にしたりして、まわったりしてあそびました。大人もこどももいっしょになつてもりあがりました。

山笠の行事ですきなのは、11日のしゅうぎ山です。三じ半にはおきないといけないので、ねむたいです。でも、しゅうぎ山のだいがりはグラグラしておもしろかったです。

しゅうだん山みせで、てんじんのほうにいくとき、いつもは車しかとおれない大きなみちをはしるのがきもちがい

いす。

15日の追い山の日もねむたいけど、いっしょようけんめいはしたり、きよい水がたくさんかかるので、めがさめます。

ぼくは山笠がすきです。はやくまたらい年の7月になつて、山笠がやりたいです。

### どんたくの楽しみ

●博多小学校3年

コンドウ シンタロウ  
近藤 進太郎

毎年5月3日と4日はぼくの楽しみ。ぼくのおじいちゃんはおアドバルーン屋さんです。どんたくパレードのスタート地点に、赤い横長バルーンをかざるのが、おじいちゃんの仕事です。

パレードが始まる前に、とり付けをします。パレードが終わって、バルーンをはずします。パレードの中も、あぶなくないように、ずうっと見守っています。ぼくも、おじいちゃんといっしょに、バルーンを見守っています。パレードの様子も、見守っています。

お友だちや先生や知り合いを見つけた時、すぐくうれしくなります。今年はミッキー

マウスも通りました。デイズ  
ニリーゾートみたいだなー、  
と思いました。いったい何人  
の人がおじいちゃんのバルー  
ンの下を通っていったのかな  
ー。

そして、パレードの終点に  
立っているおじいちゃんのエ  
アーアーチが、みんなを優し  
く出むかえてくれてます。  
また来年も、おにいちちゃんと  
ぼくでお手伝いに行きたいと  
思います。おじいちゃんの仕  
事をいっぱいおぼえて、おじ  
いちゃんに楽をさせてあげた  
いです。

ずーっとおじいちゃんとい  
っしょにいられるから、どん  
たくが大すきです。

## 今年のお祭り

●香椎第三中学校2年

ハタ アリサ  
**秦 安里紗**

私がお祭りが好きです。お  
祭りに行きたがらない人も、  
人混みが嫌いなだけで、お祭  
り自体は嫌いではないと思っ  
ます。

私の住んでいる地区は、子  
供会が夏祭りをしていて、町  
内の夏祭りはあまりありませ  
ん。けれど今年は、第2回目  
の子供会と町内の合同夏祭り

がありました。合同夏祭りとい  
って、子供会が行う夏祭  
りと全く変わりはないのです  
が、人がたくさん増えてにぎ  
やかにになりました。

私は友達とずっと食べたり  
しながら話していました。そ  
のあと、輪投げや的当てをし  
に行ったのですが、私は方向  
音痴なので、輪やボールが右  
往左往して、その辺にいる人  
たちにずっと爆笑されていま  
した。その中でも、一番方向  
音痴が悪く働いたのがありま  
した。それは、妹の友達のお  
母さんの頭に輪がすっぽりは  
まってしまったことです。自  
分のお母さんならまだしも、  
他のお母さんの頭にはまっ  
てしまったのが最悪でした。周  
りの人達からは、この日の中  
で一番大きくて、楽しそうな  
笑い声が上がりました。そし  
て私も、輪がはまったままの  
そのお母さんもとて笑いま  
した。私は、笑いが止まらな  
くなって、失礼だと思ってい  
ても止まらなかつたので、そ  
のまま謝りました。普通なら  
そういう態度を怒る人もいる  
と思うのですが、そのお母さ  
んは、

「もうっ」

と笑いながら言ってくれまし  
た。私は、お祭りだからかな  
とその時思いました。そう思

った理由は、お祭りという人  
と人がふれ合っていて、にぎ  
やかで、楽しい時に怒ったり  
したら、その場に水をさすこ  
とになつて、みんなの気分が  
落ち込むし、第一、そんなに  
楽しい時に、怒る気なんてど  
こかに飛んで行ってしまふと  
思つたからです。もともと、  
そのお母さんは、こんなこと  
で怒るような人ではないけれ  
ど、お祭りのようなことが行  
つてある時は、どんな人でも  
角がとれてまるくなつていま  
と思ひます。

私は、いつものような、こ  
ういうことが起きないような  
普通の夏祭りだったら、いつ  
も通り、単純に楽しむだけだ  
つたと思ひます。だから、今  
年は、こういう私的に小さい  
ハプニングが起こつて良かつ  
たと思ひました。私的に、い  
つもは思つたり、考えたりし  
ないことがたくさん考えられ  
て良かつたです。お祭りは、  
人と人がふれ合うのに、最適  
なイベントだと思ひました。  
準備や後片付けでも、みん  
なで協力して行ふし、イベン  
トの中では、大人も子供も老  
人も赤ちゃんも、誰でも一人  
一人が楽しめるので、本当に  
良いイベントだと思ひました。  
それと、私の町内は、みんな  
仲が良いので、あんなことが

起こつても大丈夫だと思ひま  
した。なので、お祭りなどの  
イベントを通して交流が深ま  
るのは、とても良いことだと  
思ひました。

## おまつりっていいね

●香椎第三中学校2年

マッポ チアキ  
**松尾 千明**

私は今年の夏、初めて経験  
したことがある。それは……  
8月のある日。私は友達に  
さそわれて、地区の夏まつり  
に出かけた。私は夏まつりが  
大好きだ。おいしいものがた  
くさんあるし、久しぶりに友  
達にあえたりするから。でも  
今年の夏まつりは、今までで  
一番楽しかった。私は今年、  
盆踊りに出会つた。実はいま  
で生きてきて、私は盆踊りを  
踊つた事がなかつた。盆踊り  
の存在は知つていたが、恥ず  
かしいし、踊れなかつたので、  
まったく興味がなかつた。し  
かし、今年の夏まつりは違つ  
た。

「おまたせー」

友達がみんなそろつたので、  
夏まつりに出かけた。赤いち  
ょうちゃんにたくさんの出店。  
(夏まつりだ。何食べようか  
な) 出店の周りを歩いている

とき、

「それでは、今から盆踊り  
を始めます。みなさんも一緒  
に踊りましょう」

という声が響いた。そして音  
楽が流れ始めた。友達が、

「盆踊り始まつたよ。一緒  
に踊らん？」

ときそつてきた。まったく踊  
れないのにどうしようと思つ  
たが、せつかくさそつてくれ  
たのに申し訳なかつたので、  
しぶしぶ踊ることになった。  
皆踊れているのに、自分だけ  
踊れてなくて、踊るのやめよ  
うかなと思つたそのとき、

「次のふりはこうよ」

おまつりのはつびを着たおば  
さんが教えてくれた。そのお  
ばさんは、私の横について、  
親切に教えてくれた。最初は  
まったく踊れなかつたのに、  
いつのまにか下手だけど踊れ  
るようになっていた。そして  
だんだん楽しくなつてきた。  
盆踊りを踊つたことがない人  
には、何が楽しいか分からな  
いと思うが、実際、自分にも  
よくわからないが、楽しかつ  
た。これは、踊っている人に  
しか分からないのかなつて。

そして、終わりが近づいてく  
るにつれて、地区の人全員が  
大きな輪になり、盆踊りを踊  
っていた。すると、  
「いよいよ盆踊り最後の曲

となりました」と  
という声がかかった。私はこ  
れが最後の曲だと思いと、と  
てもさみしい気持ちになった  
と同時に、何で今まで、この  
楽しさに気付かなかったのだ  
ろうと思った。そして、また  
来年も行きたいなって思った。  
今度は私がみんなに盆踊りを  
伝えたい。みんなで踊りたい、  
心からそう想えた、とても想  
い出になった夏まつりだった。  
来年もみんなで踊るんだ盆  
踊り。

### 山笠を支える人たち

●博多中学校3年

フジイ  
藤井 南美

今年の山笠は私にとつて、  
すごく勉強になる事がたくさ  
んありました。なぜかと言  
うと、今年から町内でごりよん  
さんに参加するようになった  
からです。本当の意味で山笠  
をささえているごりよんさん  
の仕事は、山を昇く人達並に  
大変で、根気のいるものでし  
た。

お汐井とりの日、私は母と  
今年から山笠に参加する弟と  
一緒に、町内の詰所に行きま  
した。集合時間の何十分前  
も来たのに、すでに水法被姿

の男衆  
が、出  
してい  
するの  
ドッキ  
何をす  
んでし  
そこ  
て来ま  
方です  
目見る  
いてき  
「来  
と笑い  
のイメ  
恐くて  
いもの  
柿原さ  
ホツと  
出発  
意気揚  
「オッ  
!!」  
の掛け  
した。  
はせわ  
肉や野  
人、皿  
の担当  
つきで  
りあえ  
きれい  
ルに並  
若手に  
礼のな  
ました

私は根性のある人  
意しました。だか  
もつと頑張ります

### NTTドコモ賞

### やまかさだいすま

●博多小学校1年

川カワ

「おいさつ、お、  
たのしいやまか  
りました。7がつ  
つこうがおわった  
はっぴとしめこみ  
ると、わたしはむ  
きました。  
さいしよはあつ  
きよいみずがかか  
だんすずしくなつ  
「おいさつ、お、  
おとなのこえの  
どもたちもまけず  
こえをだしました  
じゅんばんに、  
をさせてもらいま  
つとたかいところ  
こわかったけど、  
つたらあがれない  
しかったです。」

ので、ぶどうジュースとおいなりさんを買ってもらいました。と中で、小学校のお友だちにたくさん会いました。いっしょに「かたぬき」と言う遊びをして、とても楽しかったです。

わたしが入っている子ども会は、わらびもちやラムネ、かき氷などを売ります。わたしは、わらびもちを作るところからつだいました。わらびもちに、つまようじをさして、わゴムでとめるのを220こしました。手が赤くなりました。わらびもちは、つくて売るのが、わたしは、わらびもちを手売りで友だちといっしょに売りました。大きな声で「わらびもちいかがですかー」と言うと、いろいろな人が買ってくれました。クラスのお友だちや、お友だちのお母さんも買ってくれました。わたしは、どんどん売れるのがとてもうれしくて、楽しかったです。

妹といっしょにわたしがしを買っていたら、となりの方から音が聞こえてきました。見に行くと、大人と子どもがいっしょに太こをたたいていました。とても近くで見られたので、むねがドンドンしておもしろかったです。

流れかんじようは、昔はも

っと大きなお祭りだったそうです。わたしは、家の近くであるし、友だちもみんな来るこのお祭りが大好きです。これからもずっとあつてほしいと、思います。

## 祭り

●東月隈小学校5年

コシナガ  
是永  
マナミ  
愛実

今日は楽しいお祭りだ  
ワツシヨイワツシヨイ  
うれしいな  
ずらりならんだお屋さん  
わたしがし もろこし リンゴ  
あめ  
おいしそうだな 食べたいな  
金魚すくいに射的 くじ  
どれにしようか まよっちゃ  
う  
今日は楽しいお祭りだ  
ワツシヨイワツシヨイ  
血がさわぐ  
どっちを向いても人だらけ  
ゆかたにじんべい 手にうち  
わ  
空にでっかく火花咲く  
あれれ こまった どうしよ  
う  
気付けば 迷子になっちゃっ  
た

## 笑顔のコミュニケーション

●箱崎中学校1年

アンドウ  
安藤  
ナナミ  
ななみ

「私、こんなにもらったよー」

「私もー、見て見て」

7月の中旬。「人形飾り」の日には、箱崎の町から子供達のうれしそうなはしやぎ声が聞こえてきます。

私の住む箱崎は、有名な筥崎宮を中心とする様々な祭りや行事が行われます。その中には放生会、玉せせり、夏越し祭り、そして人形飾りなど、どれも伝統のあるお祭りです。その中でも、箱崎に住む子供達に一番身近で、楽しみにしているのは、やはり「人形飾り」です。箱崎に住んでいない人には、あまり知られていないようで、簡単に説明すると、子供達が箱崎の家々をまわり、置いてある人形にお線香をあげてお参りする、というものです。

しかし、どうしてこれが子供達に人気があるのか？それは、お線香をあげると、その家の人からお菓子をもらえるからです。

子供達は、お菓子を大きな袋に入れて、箱崎の町を歩いてまわります。

私も毎年、この人形飾りに参加しています。私はこのお祭りに参加して、いつも2つものものを家へと持って帰ります。

1つは、袋一杯のたくさんのお菓子。もう1つは、箱崎の人々の笑顔です。人形を飾っている家は、おじいちゃん、おばあちゃんのような高齢の人が多く、私がお参りしおわると、「ありがとう」と笑顔でお菓子を渡してくれるのです。笑顔をもたらすと、それが体中にいきわたって、自然に笑顔になります。子供達は、お菓子をもらってにこにこ。おじいちゃん、おばあちゃん、そんなうれしそうな子供達を、あたたかい笑顔で見守っています。

「人形飾り」。このお祭りは、箱崎の人々の心と心をむすぶ伝統のあるお祭りです。いわば、笑顔のコミュニケーションの日なのです。

私は、この箱崎の伝統を、笑顔で、いつまでも守っていきたくと思います。

## お地藏さん

●箱崎中学校3年

ハンダ  
半田  
ユリノ  
百合乃

私が住んでいる地域には、放生会や山笠、玉せせり、人形飾りなど、様々なお祭りがあります。

中でも人形飾りは、私が住んでいる箱崎で行われる伝統的なお祭りです。子供やおとなが作った人形などを展示します。また、子どもたちが箱崎の家や神社を回り、線香を供えて、お菓子をもらったり、くじびきをしたりする、子どもの健やかな成長を願うお祭りです。

私は、幼いころから人形飾りが好きで、線香をお地藏さんの前に供えたことから、人形飾りのことを、「お地藏さん」と呼んでいました。

「お地藏さん」の中で、私のが最も印象に残ったことがあります。それは、私が小学校6年生のときです。

私が通っていた小学校では、毎年、6年生になると、「お地藏さん」に向けて、粘土で人形を作ります。私は、友だちと、「かぐや姫」をテーマに人形を作りました。

人形作りは、私が想像したよりも難しく大変でした。

急いで作らないと、粘土が乾燥してしまつて、つかなくなつてしまいます。でも、丁寧に作らないと、見に来た人たちが残念に思います。天女を担当していた私は、天女をすばやく、丁寧に作るように努力しました。でも、最後に粘土を乾燥させるとき、私が作った天女はバラバラに崩れてしまいました。何度も修正して、友だちよりも不格好になつてしまつた私の天女は、見に来た人たちに喜んでもらえるか不安でした。

そして、「お地藏さん」の当日、不安になりながらも、急いで人形が展示してあるところに行きました。すると、私が作った天女は、不格好ながらも一番前に立ち、にっこりと笑つていました。私は嬉しくて、一生懸命人形を作つて良かったと思えました。

また、私は灯籠も作りました。灯籠は、和紙に俳句と絵を書き、道に沿つて飾られます。そして、夜になると火をつけます。私は、絵を描くのは苦手だつたけど、頑張つて天の川の絵と花火の絵を書きました。

夜になつて灯籠に火がつけられると、本当にきれいでした。私たちが住んでいる町、箱

崎には、こんなお祭りがありま、どもからおとな、このお祭り、「おは、伝統を守り、やかな成長を願、しみのあるお祭、さんも、この「に参加してみま、

日本アイ・ビー・エム賞

おしいちゃんありがとう

●博多小学校1年

カリカワ 劉川 啓志郎

7にちかんの、つも、てをつな、た。

おなががいた、つないで、はし、あしがいたい、ないでくれたよ、こけそうにな、をつないでくれ、とてもうれし、とおおきくなつ、は、ほくが、おど、てをつないで、

子ども山登

●博多小学校5年

イノウエ 井上 雄揮

●箱崎中学校1年



祭と地域交流

か  
うことは、親せきや親の知人  
だけでなく、例えば夜店を開  
いている人に、なにかしら声  
をかけてしゃべる。僕は、こ  
れが一番大切であり、そして  
なにより、祭だからこそでき  
ることである。知らない人に  
声をかける、確かにそれは難  
しいことかもしれないが、そ  
れを乗り越えることで、はじめ  
て地域交流の輪が広がると思  
う。僕は、このようなことが  
できるのは、祭ならではのど  
思う。

い。こ深行 さてい の。たの多 祭流 流たき地 一 で々 八  
今まで僕は、祭というもの  
にあまり参加したことがなく、  
地域というものにも、あまり  
興味、関心というものがなか  
った。今年も、たまたまだが、  
地域の祭に参加することで、  
改めて地域の人々との交流を  
するということを実感し、そ  
のことの大切さも実感した。  
そして、このようなことを実  
感させてくれる地域の伝統的  
な行事である祭は、なにかす  
ごく大きな、楽しみだけでは  
ないものを持っているんだと  
思った。  
地域で行われている小さな  
祭は、楽しむのはもちろんだ  
が、親せきや知人だけでなく、  
色んな人、世代を超えて交流  
することが大切だと思う。そ  
うすることで、地域を大切に  
思う気持ち、地域の人との

交流、それがどれほどのもの  
かが、わかってくるのではな  
いかと思う。

### NPO博多の風賞

#### おとうと

●博多小学校1年

オオウラ 大浦  
メイイ 萌衣

わたしには、にさいのふた  
ごのおとうとがいます。ふた  
りともやまかさごとでもすき  
です。やまかさはおわたの  
に、まいにち「おいちやおい  
ちや」っています。  
べびいかあにのつておでか  
けするときも、たちあがつて  
おおきなこえで「おいちやお  
いちや」います。いっしょ  
にあるいていと、ちよつと  
はずかしいけど、とてもかわ  
いいです。

#### ながれかんじよう

●博多小学校3年

イッダ 磯田  
ケ 敬

ぼくのすんでいる大は  
は、8月24日から26日  
ながれかんじようのお祭  
りました。  
お祭りには、金魚すく  
くじびきやかたぬきなど  
くさんのお店がありまし  
た。ぼくは、くじびきをし  
たが、ほしかつたラジコ  
ーは当たらなくてくやし  
いです。  
かたぬきは、何度もや  
したが、一度もせいこう  
せんでした。  
おでんややきとり、わ  
もちなど食べ物のお店も  
さんありました。  
でも、みんな地いきの  
さんやおばさんたちが、  
ているお店です。  
お母さんも子ども会のも  
で、わらびもちやビール  
っています。  
ぼくが一番おいしいと  
たのは、おでんです。  
お祭りには、むかしの絵  
かざってあります。  
その絵には、さむらい  
たかっている絵や、人間  
をながしている絵などこ  
絵がかざってあります。

いまは、なれたけど、  
しよはすぐこわかった  
こうみん館の先生の話を  
いたら、先生が子どもの  
は、サーカスやおぼけや  
もあつたそうです。  
でも、子どもが少なく  
て、お祭りがなくなりそ  
なりました。  
それで、地いさのおじ  
やおばさんが、子どもた  
のためにお店をだしてくれ  
た。  
ぼくは、楽しいお祭りな  
くならなくてよかったな  
いました。

#### 博多祇園山笠

●博多中学校1年

太 だ が で や た 。 し っ か し 。 た や が で 太

7月が近くなるに  
ち着かなくなつてく  
も、「博多祇園山笠」  
るからだ。いや、博  
血が騒ぐといったほ  
っている。  
僕は、生まれた年  
に出ている。今年で  
だ。しかし今年、  
全然違う。若手入り  
だ。若手入りとは、  
んからは、それまで  
て扱われていたが、

フジイ 藤井

## あのときの気持ち

●箱崎中学校3年

イマムラ トモヨ  
今村 知世

「今年はおんたも出るから」  
3年前の7月頃、母にいきなり言われた。最初はなんのことかわからなかったが、すぐにわかった。母の手には、はつぴがあった。

私の住んでいる箱崎は、9月頃に「放生会」という祭りがある。その祭りには、2年に1度、「御神幸」と言う伝統的な行事がある。御神幸は、管崎宮から千代方面まで歩き、また管崎宮に戻ってくるものだった。大人でもきつい道のりを、当時の私はあまくみていて、「わかつる」と、のんきにアイスを食べていた。

小学生は、放生会がちかづいてくると、朝6時頃に、箱崎を鐘をたたきながら歩かなければならなかった。私には兄がいたのでよかつたが、もし一人っ子だったらでていなかったと、今は思う。そのくらい面倒だったし、ねむかつた。

そのときの御神幸にでる同級生は少なく、私の従兄弟をいれても5、6人ぐらいしかなく、あとは、大人が年下の子達ばかりだった。私がい

つも一緒にいる友達はず、話す相手がなく、ヒマだった。面倒でヒマで、でもなぜか、楽しみだった。

御神幸当日。周りには人だらけだった。私は大きなはたのような物を4人ぐらいでころがしながら歩いていった。ここで止まるかなんて知らないから、ただ歩いていった。とちゅうで、年下の子たちを気づかしながら、私もひたすら歩いていった。

「きつつー」  
とつぶやいた私の声がかきこえたのか、近くにいた男の人が、「もう少しだから、頑張つて」

と言ってくれた。少しだけうれしかった。

やっと目的地について、休けいしている、

「頑張つたね」

と、近所の人に言われ、ちょっとてれた。

あのときの私は、きつさとうれしさがまざり、よくわからないものだった。

去年、御神幸があった。女は中学生からはもう出られなかったが、私の兄などが出ていたので見に行った。びっくりにした。3年前はよく見ていなかったが、人が御神幸を中心に動いていた。最後になると、御神幸にでている人達は、

本堂にむかって走っていかないといけぬ。それを暗い中、小学生から大人まで真剣にやっていた。そのたびに周りの人達から、拍手や歓声があがっていた。そのとき私は、この御神幸がとてすこいものだと、初めて実感できた。

私は、あのとき感じた、面倒ながらも楽しみにしていた気持ち、やつとわかつた気がする。

## 地域の人たちと私

●香椎第三中学校3年

キシモト カナ  
岸本 華奈

「げー。今日夏祭りじゃー」

「そんな声をもらしているのは、吹奏楽部の仲間たち。

そう、今日はみんなが待ちに待った夏祭り！のはずなのに、吹奏楽部の心はブルー。夏祭りといえ、吹奏楽部の演奏がつきものである。夏祭り

で演奏するのは全然問題ない。むしろ、うれしいのだが、問題なのは炎天下の中、やらなければいけないということなのだ。

夏祭りでの演奏が終わった。演奏が終わると食券がもらえる。その食券でラムネやポテト、それぞれほしいものを買

う。そこで私は驚いたことがある。この炎天下の中、地域の人たちが一生懸命やっていたことだ。

売り場のテントの中で、汗だらだらで働いていた姿は、今でも忘れられない。それだけでなくもキツイのに、笑顔で接客したり、「今日の演奏すこーかったよー」と声をかけてくれたり、地域の人たちのパワーはすごいなと思った。それに、タダでジュースをくれたり、テントの中は活気と優しさであふれていた。

地域の人たちの動きはそれだけではない。出演するために来てくれた幼稚園児やおばあさん方への対応も、ぼつちりだった。本当に季節は夏なのかと、疑ってしまうほどのきびきびした動きだった。それは、この夏祭りを成功させるぞという地域の人たちの心のあらわれだったと思う。

私たちがふだん何気なくあそびにくる夏祭りは、地域の人たちのあたたかい気持ちのつまった行事だったんだなと思つた。この夏祭り当日までに、どれほどの時間をかけて話し合ったり、材料を買ったりしたんだろうと思うと、感謝せずにはいられないと思つた。夏祭り当日の動きだつて、地域を想う心がないと、決し

てできないことだなと思つた。それに、その人たちがいなければ、夏祭りは成功しなかつたろうし、夏祭りさえなかつたかもしれない。そう考えると、地域の人たちを大切にしたいなと思う。

私は、人見知りのはげしい方で、初対面の人とはあんまり仲良くなれない。それもあつてか、地域の人やマンションの人たちとも、あんまり良い関係ではないと思う。だから、私が大人になったら、地域の活動に積極的に参加して、地域の人たちとも仲良くやっていたらいいな、と思つた。そして、その時代の子どもたちにも、夏祭りを通して、なにか感じて、地域の人たちへの思いやりをもつてほしいと思つた。

平成10年	9月	任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
	10月	第1回 博多の風フォーラム 開催 講師:松本龍氏(衆議院議員)
平成11年	4月	第2回 博多の風フォーラム 開催 講師:倉田 眞氏(毎日新聞編集局長)
	10月	第3回 博多の風フォーラム 開催 講師:沢田幸二氏(九州朝日放送アナウンサー)
平成12年	4月	第4回 博多の風フォーラム 開催 講師:坂口卓司氏(RKB毎日放送アナウンサー)
	5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 『山笠の風』出版 同出版記念パーティ 開催 NPO(特定非営利活動法人)認証取得 理事長:大庭宗一
	6月	NPO博多の風として登記
	10月	第5回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:緒方邦博氏(プランニング秀巧社社長)
平成13年	11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
	4月	第6回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:後藤豊彦氏(福岡銀行相談役)
	5月	第1回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	7月	『NPO博多の風フォーラム』 福岡県21世紀記念事業認証取得
	10月	福岡県21世紀記念事業 第7回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:後藤久義氏(博多祇園山笠振興会会長) 永吉和幸氏(毎日新聞社福岡総局長) 緒方邦博氏(プランニング秀巧社社長)
平成14年	4月	第8回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:安達一成氏(毎日新聞社記者) 『NPO博多の風ホームページ』開設
	5月	第1回 クリーン作戦 実施
	6月	第1回 追い山笠コース探訪 開催 第2回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施 『NPO博多の風広報誌:風人』発行
	10月	第9回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:高橋慶彦氏(元プロ野球広島東洋カープ)
	11月	第2回 クリーン作戦 実施
平成15年	4月	第10回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:永守良孝氏(RKB毎日放送株式会社 取締役)
	5月	第3回 クリーン作戦 実施
	6月	第2回 追い山笠コース探訪 開催 第3回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	11月	第11回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:奥田智子氏(九州朝日放送アナウンサー)
	11月	第4回 クリーン作戦 実施
平成16年	4月	第12回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:ウー C リー氏(在福アメリカ領事館首席領事)
	5月	第5回 はかたの町クリーン作戦(雨天中止)
	6月	第3回 追い山笠コース探訪 開催 第4回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第13回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:富永倫子氏(RKB毎日放送アナウンサー)
	11月	第6回 はかたの町クリーン作戦 実施
平成17年	4月	第14回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:松田浩氏(アビスパ福岡監督)
	5月	第7回 はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第4回 追い山笠コース探訪 開催 第5回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第15回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:大庭宗一(NPO博多の風理事長)
	11月	第8回 はかたの町クリーン作戦 実施
平成18年	4月	第16回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:平田大(南島詩人)
	5月	第9回 はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第5回 追い山笠コース探訪 開催 第6回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第17回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:逸見明正氏(九州朝日放送アナウンサー)
	11月	第10回 はかたの町クリーン作戦(雨天中止)
平成19年	4月	第18回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:中村信喬氏(人形師)
	5月	第11回 はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第6回 追い山笠コース探訪 開催 第7回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第19回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:戸谷弘一氏(福岡県警察本部 警務部警務課管理官)
	11月	第12回 はかたの町クリーン作戦 実施
平成20年	4月	第20回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:石原進氏(JR九州 代表取締役社長)
	5月	第13回 はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第7回 追い山笠コース探訪 開催 第8回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakatanokaze.jp

URL http://hakatanokaze.jp

## NPO博多の風事業概要

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動  
博多のおいしゃんと歩こう「追い山笠コース探訪」事業
- 博多の町の地域清掃活動「はかたの町クリーン作戦」事業
- 祭童子あつまれ「楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字:新井光寿

